



サイレコ/オフィスステーション連携/管理者マニュアル



弊社のコンサルティングプロセスは、組織・人事コンサルティング業界で初めて、 ISO:9001/2015(品質マネジメント)の国際認証を取得しています。



弊社では、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)を取得し情報セキュリティを中心としたリスクマネジメント及びコーポレートガバナンス を強化しています。

株式会社アクティブ アンド カンパニー サイレコサポートセンター



オフィスステーション連携でできること	<u>P.3</u>
従業情報の相互連携	<u>P.4</u>
サイレコとオフィスステーションの連携構成	<u>P.5</u>
Phase 1. 連携設定	<u>P.6</u>
オフィスステーションの連携開始依頼	<u>P.9</u>
連携情報の登録	<u>P.10</u>
連携定義の登録	<u>P.11</u>
連携実行パターンの登録	<u>P.24</u>
Phase 2. 連携実行	<u>P.27</u>
連携予約(実行)	<u>P.29</u>
連携データ取得	P.38

オフィスステーション連携でできること

オフィスステーション連携でできること 概要



- サイレコで新規登録した従業員アカウントをオフィスステーションへ連携し、オフィスステーション上にサイレコで登録したアカウントを自動作成し ます
 - ※オフィスステーションで新規に作成したアカウントをサイレコに連携することはできかねます そのため、オフィスステーショントで新規に従業員アカウントを作成した場合には、別途サイレコでもアカウント作成が必要になります
- サイレコで変更した従業員情報をオフィスステーションに反映できます
- また、オフィスステーションで変更した従業員情報をサイレコが取得できます

従業員情報の相互連携



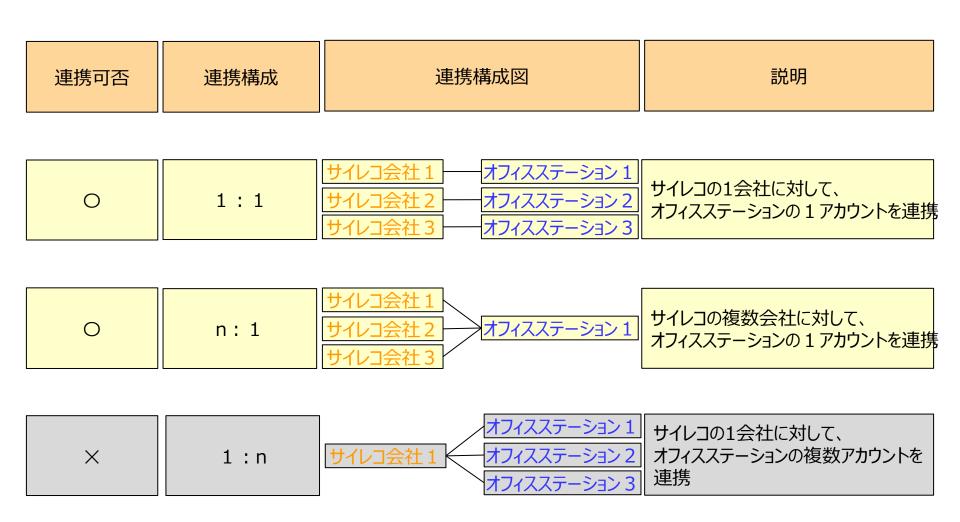




サイレコとオフィスステーションの連携構成



- サイレコは1会社、オフィスステーションは1アカウントが連携単位となります
- サイレコとオフィスステーションの連携構成ごとの可否は以下の通りです



Phase 1. 連携設定

Phase 1. 連携設定



■ 連携設定の手順は以下の通りです

オフィスステーションの連携開始依頼

接続情報の登録

連携定義の登録

連携実行パターンの登録

Phase 1. 連携設定 オフィスステーションの連携開始依頼



■ オフィスステーションの連携開始希望をサイレコサポートセンターへメールで連絡します

オフィスステーションの連携開始依頼 接続情報の登録 連携定義の登録 連携実行パターンの登録

オフィスステーション連携開始依頼



- オフィスステーション連携をサイレコサポートセンター(<u>saireco@aand.co.jp</u>)へ<u>メール</u>で連絡します ※サイレコ利用開始時に提出する「利用申込書」のオフィスステーション欄にチェックがついていない場合は、「<u>利用申込変更届</u>」の提出も必要になります
- サイレコサポートセンターでオフィスステーション連携機能をONにします 完了すると、下記のように画面上にメニューが確認できるようになります



Phase 1. 連携設定 接続情報の登録



■ オフィスステーションの接続情報をサイレコに登録します

オフィスステーションの連携開始依頼 接続情報の登録 連携定義の登録

連携実行パターンの登録



- ① オフィスステーションにログインし、 [マスタ管理] > [利用者管理] をクリックします
- ② 利用者管理に登録されている管理者の「ログインID」・「パスワード」を確認します ※認証方法は「乱数表」にする必要がございます



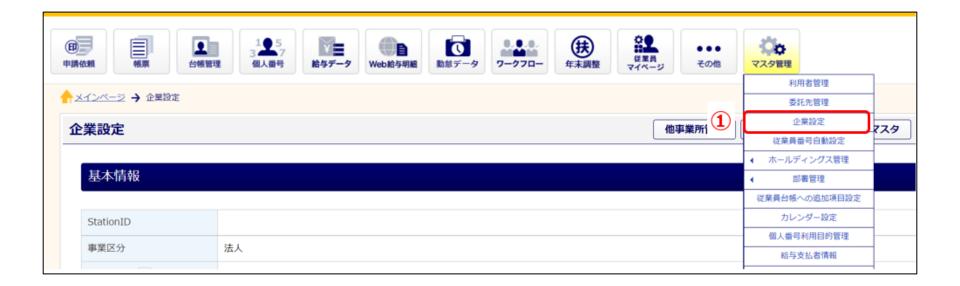


- [オフィスステーション連携] > [接続情報の登録] にて設定します
- ③②にて確認した管理者のログインID・ログインパスワードをサイレコに入力します





- ① オフィスステーションにログインし、[マスタ管理] > [企業設定]をクリックします
- ② 基本情報に記載がある、「StationID」・「メールアドレス」をコピーします





③ ②でコピーした情報を元に、「プロダクトID」・「メールアドレス」・「ステーションID」を入力します ※プロダクトIDとステーションIDはどちらも「StationID」が入ります





① 管理者画面で初回ログインした際に、以下の画面が表示されますので、 [ダウンロード] をクリックします ※もし乱数表を失念した場合は、マスタ管理 > 利用者設定より「乱数表再発行」をクリックし、再ログインをお願いします

初回ログインのため、乱数表をダウンロードしてください。

※乱数表はログインの際、必要となりますので大切に保管してください。

ダウンロードが終わりましたら、「次へ」ボタンをクリックしてください。





②ダウンロードした乱数表より「乱数表番号1」「乱数表番号2」欄に、それぞれ任意のX軸、Y軸を設定の上、交差したところに表示されている値をnumber欄に入力します

例: 乱数表番号1: 「X」→B、「Y」→3、「numer」→36

乱数表番号2:「XJ→D、「YJ→5、「numerJ→28

- ③ [登録] をクリックします
- ④ 「登録しました」というメッセージが出たら完了です



Phase 1. 連携設定 連携定義の登録



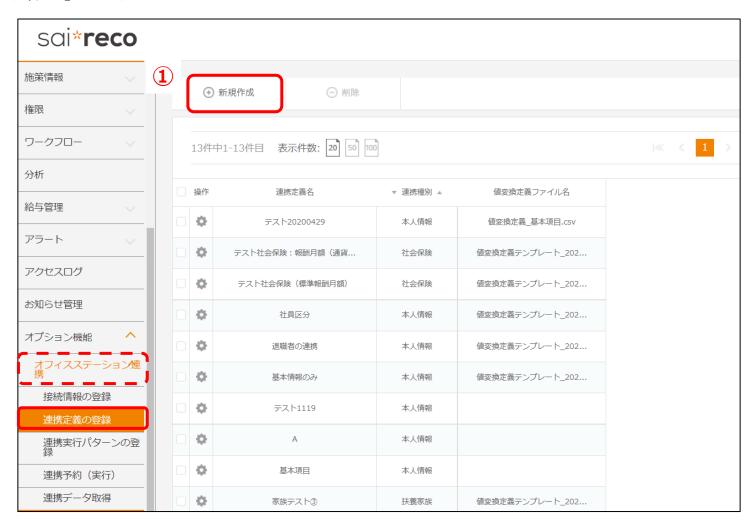
■ オフィスステーションの社員情報の各タブ項目と、サイレコの従業員情報の各項目の紐づけるための、定義を作成します

オフィスステーションの連携開始依頼 接続情報の登録 連携定義の登録 連携実行パターンの登録

連携定義の登録 連携定義の作成(1)



- [オフィスステーション連携] > [連携定義の登録] にて設定します
 - ①[新規作成]をクリックします





- ② [連携種別] を選択します
- ③連携させたい項目を「サイレコ連携項目名」にドラック&ドロップします
- ※ [社員番号]・[氏名]・[性別]・[生年月日] は必須で定義登録が必要です
- ※一部連携が出来ない項目がございます。連携できない項目は、「オフィスステーション連携」連携項目の対応表」をご参照ください





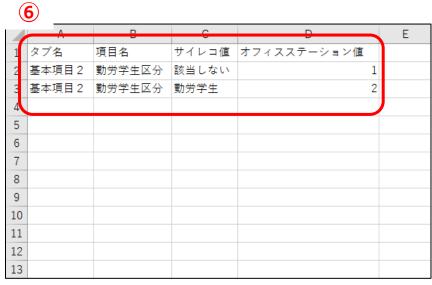
- ④値変換定義ファイルを作成します。 🕰 マークをクリックします
 - ※サイレコの値とオフィスステーションの値が異なる場合に作成します
 - 例)「勤労学生区分」

サイレコ側→"該当しない"、"勤労学生" オフィスステーション側→" 1 "、" 2 "

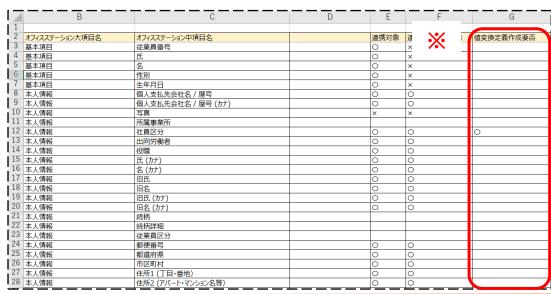
- ⑤ ダウンロードしたテンプレートを開きます
 - ※画像はGoogle chromeの場合です。使用するブラウザによってダウンロードしたファイルの表示は変わります







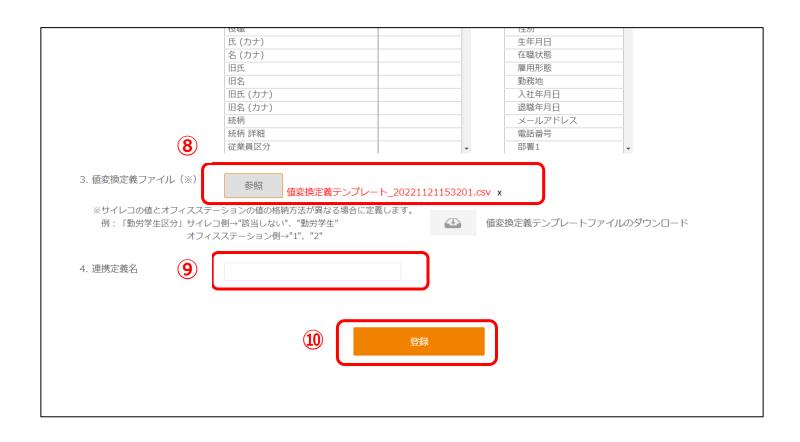
- ⑥テンプレートを作成します
 - ※「オフィスステーション連携_連携項目の対応表」の連 携項目一覧で値変換定義作成要否に「○」がつ いている項目は、テンプレートの作成が必要です
- ⑦データが完成したら、保存します



連携定義の登録 連携定義の作成(5)



- ⑧⑦で保存したテンプレートを「参照]から貼り付けます
- ⑨ [連携定義名] を入力します
- ⑩ [登録] をクリックします
- ⑪「登録してよろしいですか? |とメッセージが出たら、「Yes] をクリックします





⑩「登録が完了しました」とメッセージが出たら、登録完了です

○ 削除				
表示件数: 20 50 100			« < 1	
連携定義名	▼ 連携種別 ▲	値変換定義ファイル名		
テスト20200429		値変換定義_基本項目.csv		
《保険:報酬月額(通貨	社会保険	値変換定義テンプレート_202		_
		◎登録が完了しました		
社員区分	本人情報	値変換定義テンプレート_202		-
退職者の連携	本人情報	値変換定義テンプレート_202		
	表示件数: 20 50 100 in 20 i	表示件数: 20 50 100 連携定義名	表示件数: 20 50 100 連携定義名 ・ 連携種別 ・ 値変換定義ファイル名 ・ 本人情報 ・ 位変換定義 基本項目.csv ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	表示件数: 20 50 100

Phase 1. 連携設定 連携実行パターンの登録



■ オフィスステーションと連携する際の実行タイミングを登録します

オフィスステーションの連携開始依頼 接続情報の登録 連携定義の登録

連携実行パターンの登録

連携実行パターンの登録 連携実行パターンの登録 (1)



■ [オフィスステーション連携] > [連携実行パターンの登録] にて設定します ※連携実行 (予約) にて予約したパターンは、AM0:00~AM6:00の間に連携実行されます。





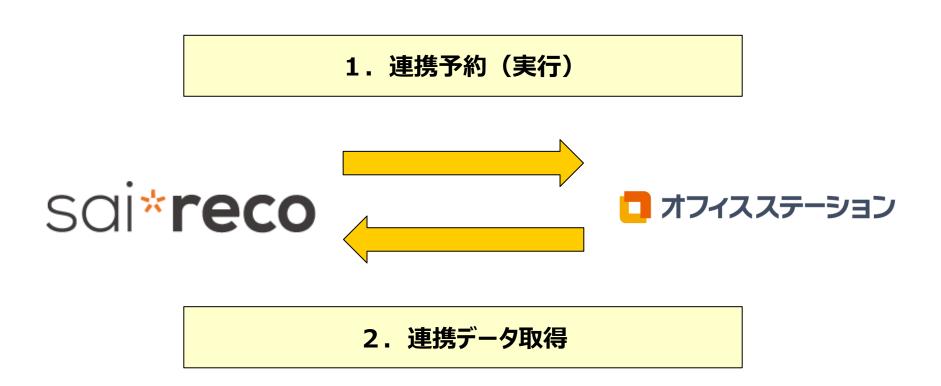
⑥ 「登録が完了しました」とメッセージが出たら、登録完了です

•	新規作成	削除		
7件中	71-7件目	表示件数: 20 50 100		« 〈 1 > »
	操作	連携実行パターン名	反映種別	
	0	即時	毎月	
	0	連携パターン1	毎週	
		パターン2	録が完了しました	
	0	毎週月曜日	毋週	
	٥	テスト	毎週	
	-0-	電話番号	毎週	

Phase 2. 連携実行

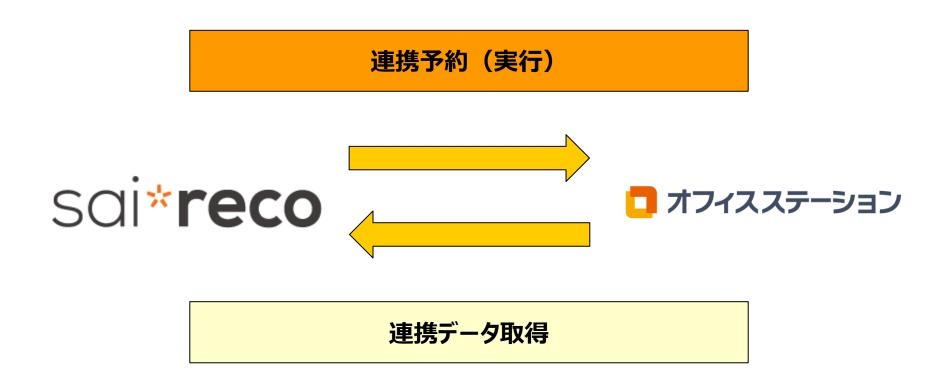


■ サイレコとオフィスステーションの連携には、以下の種類がございます





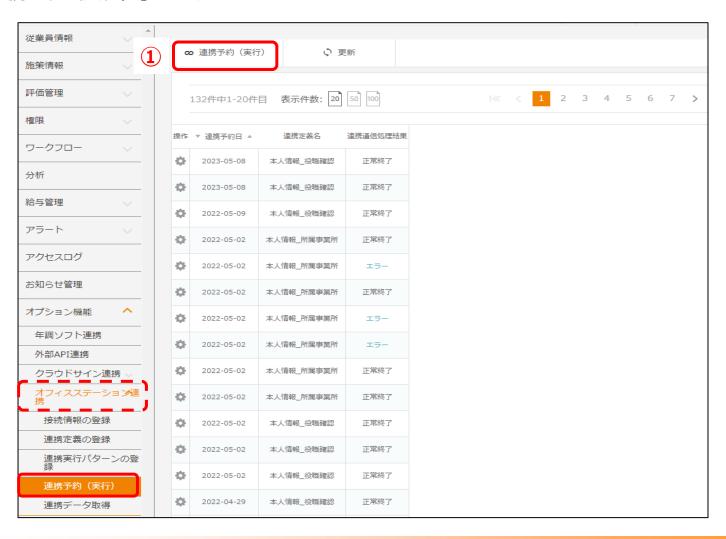
■ サイレコのデータをオフィスステーションに連携させます



連携予約(実行) 連携予約(実行)(1)



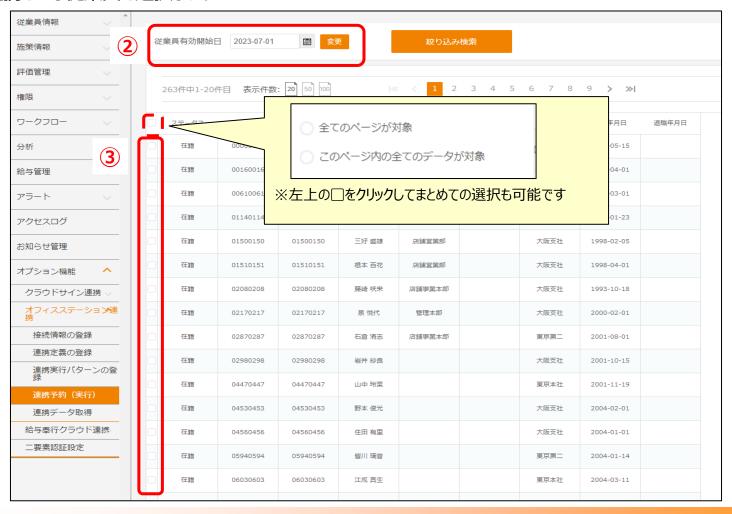
- [オフィスステーション連携] > [連携予約(実行)] にて設定します
 - ① [連携予約(実行)] をクリックします



連携予約(実行) 連携予約(実行)(2)



- ② 「従業員有効開始日」を選択します
 - ※従業員有効開始日を変更することで、従業員有効開始日時点で入社年月日の基準日を迎えている従業員が表示されます。
- ③ 連携させる従業員を選択します



連携予約(実行) 連携予約(実行)(3)



- ④ [連携定義]を選択します
- ⑤ [連携実行種別]にて[即時連携] [連携予約]のいずれかを選択します
- ※ [連携予約] の場合は、[連携パターンの選択] を行ってください
- ⑥ [連携予約(実行)] をクリックします
- ⑦ 「登録してよろしいですか?」とメッセージが出たら、 [Yes] をクリックします



連携予約(実行) 連携予約(実行)(4)



- 登録が完了すると、一覧画面に処理結果が表示されます
 - ※正常に連携が完了すると、「正常終了」になります

エラーの場合は「従業員連携エラー」になります。エラー確認方法は、 P35をご確認ください



連携予約(実行) エラー確認方法(2023/5/18以前の確認方法)



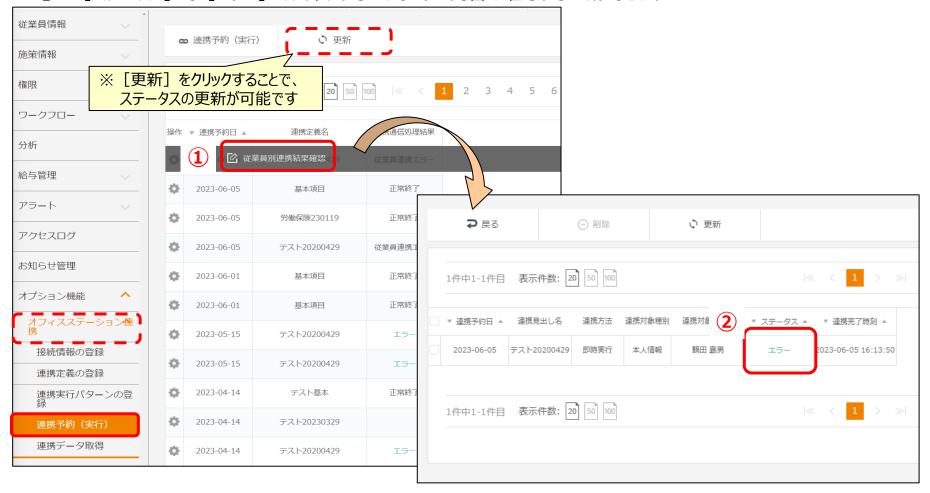
- 「オフィスステーション連携」>「連携予約(実行)」にて設定します
 - ① ステータスがエラーになっている従業員の [エラー] をクリックします
 - ② エラー内容の確認ができます



連携予約(実行) エラー確認方法(2023/5/18以降の確認方法)



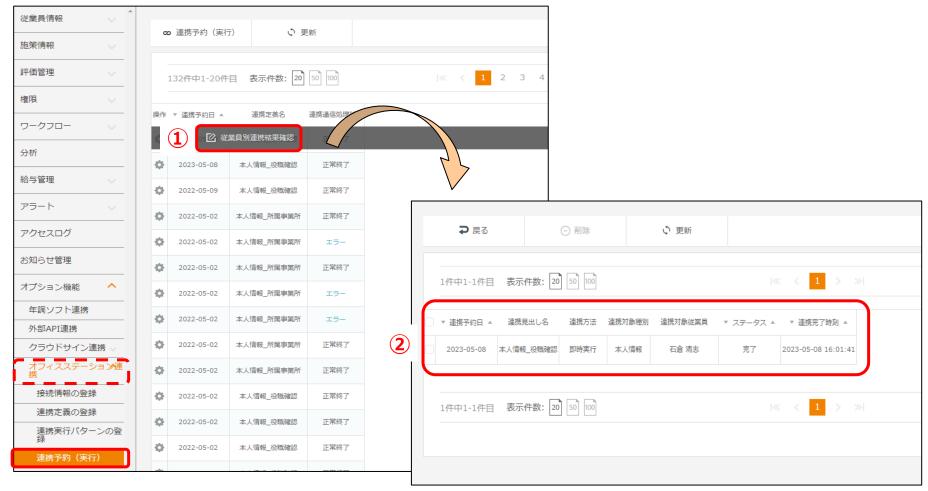
- [オフィスステーション連携] > [連携予約(実行)] にて設定します
 - ① ステータスがエラーになっている連携定義名の 🤷 にカーソルを合わせ、 [従業員別連携結果確認] をクリックします
 - ② [ステータス]で [エラー] をクリックすることでエラー内容を確認することができます



連携予約(実行) 連携した従業員の確認方法



- 「オフィスステーション連携」> 「連携予約(実行)」にて確認ができます
 - ① 確認したい連携定義の 🗘 にカーソルを合わせ、 [従業員別連携結果確認] をクリックします
 - ② 連携対象となった従業員が一覧で表示されます



連携予約(実行) 入社年月日が未来日の場合

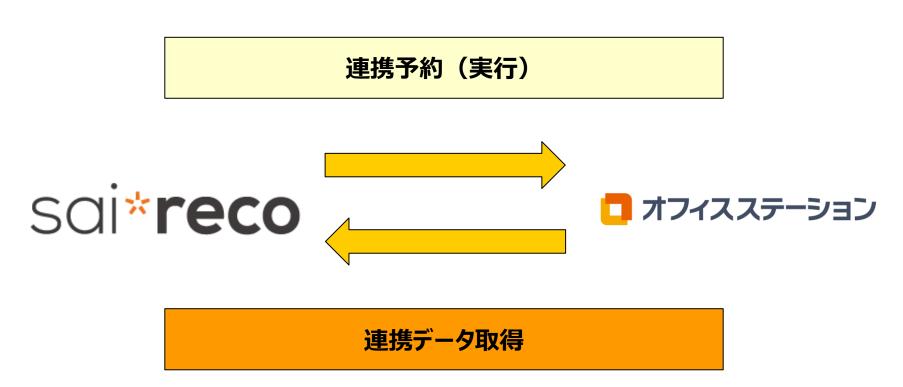


- 入社年月日が未来日の場合、「連携実行パターンの日付指定」を入社年月日以降に設定し、連携することで入社年月日が未来日の従業員でも連携することができるようになります。
- ※連携実行パターンを「毎週」または「毎月」で設定する場合は、入社年月日が未来日の従業員の連携はできません。

	即時連携	連携予約:日付指定	連携予約:毎週·毎月
入社年月日が未 来日の場合	従業員有効開始日を未来日 に変更した上で連携を行う場 合、連携することはできない。	従業員有効開始日を未来日 に変更した上で連携を行う場 合、連携することができる。	従業員有効開始日を未来日 に変更した上で連携を行う場 合、連携することはできない。



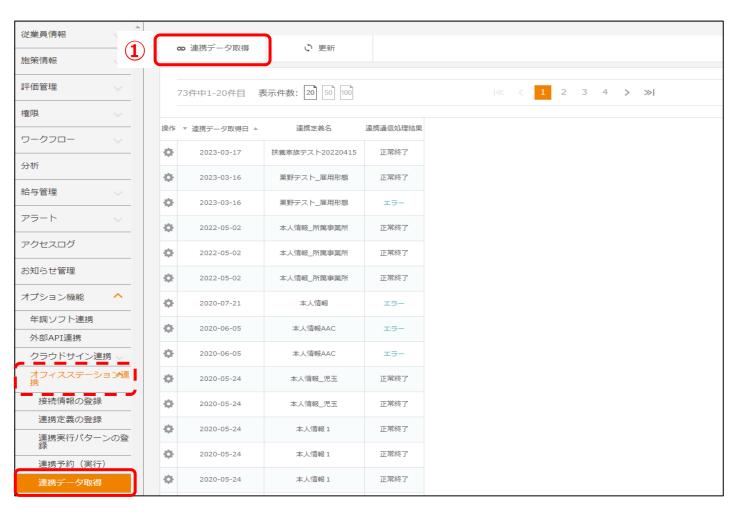
- オフィスステーションのデータをサイレコに連携させます
- ※連携データ取得は「連携予約(実行)」を行っていない従業員は、データを取得できません 「連携予約(実行)」を行ってから、連携データ取得を行ってください



連携データの取得 連携データの取得(1)



- [オフィスステーション連携] > [連携データ取得]にて設定します
 - ① [連携データ取得] をクリックします



連携データの取得 連携データの取得(2)



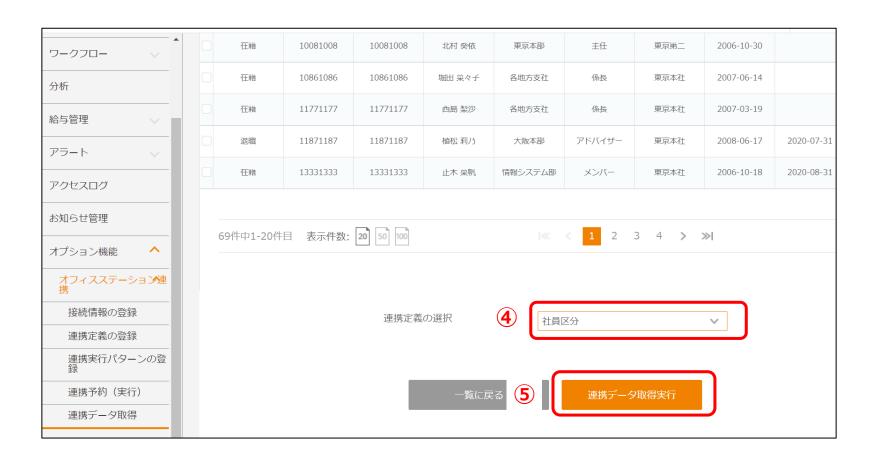
- ② [設定基準日]を選択します
- ③ 連携させる従業員を選択します



連携データの取得 連携データの取得(2)



- ④ [連携定義]を選択します
- ⑤ [連携データ取得実行]をクリックします
- ⑥ 「登録してよろしいですか?」とメッセージが出たら、 [Yes] をクリックします



連携データの取得 連携データの取得(3)



- ⑦ 登録が完了すると、一覧画面に更新結果が表示されます
 - ※正常に連携が完了すると、「正常終了」になります エラーの場合は「従業員連携エラー」になります。エラー確認方法は、P43 をご確認ください



連携データの取得 エラー確認方法(2023/5/18以前の確認方法)



- 「オフィスステーション連携」> 「連携データ取得」にて設定します
 - ① ステータスがエラーになっている従業員の [エラー] をクリックします
 - ② エラー内容の確認ができます



連携データの取得 エラー確認方法(2023/5/18以降の確認方法)



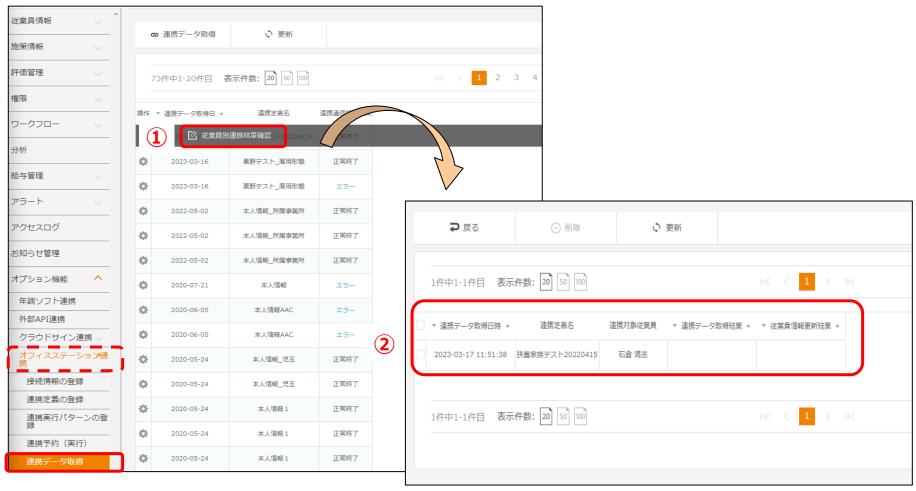
- 「オフィスステーション連携」> [連携データ取得]にて設定します
 - ① ステータスがエラーになっている連携定義名の 🌄 にカーソルを合わせ、 [従業員別連携結果確認] をクリックします
 - ② 「連携データ取得結果」で「エラー」をクリックすることでエラー内容を確認することができます



連携予約(実行) 連携した従業員の確認方法



- 「オフィスステーション連携」> [連携データ取得]にて確認ができます
 - ① 確認したい連携定義の にカーソルを合わせ、[従業員別連携結果確認]をクリックします
 - ② 連携対象となった従業員が一覧で表示されます



人事を戦略に変える。

saireco

HRオートメーションシステム

本資料は、社内用マニュアルの作成など、自社ご利用の範囲内に限り、複製・ご編集いただいて構いません。 本資料の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。 本資料の内容に関しては訂正・改善のため、予告なしに変更することがあります。